



消防大学校だより

■ 自主防災組織育成コース(第9回)

消防大学校では、平成25年6月3日から6月7日までの5日間にわたり、危機管理・防災教育科 自主防災組織育成コース(第9回)を開講しました。

本コースは、都道府県、市町村及び消防本部等の自主防災組織の指導・育成担当者に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させることを目的としています。消防大学校の全課程の中でも、都道府県、市町村の一般行政職員と消防職員とが共に学び、寮生活を送る数少ないコースのひとつです。

カリキュラムの編成に当たっては、地域防災の問題点や課題等についての研究と教育・指導技法、訓練手法等の習得を主眼としました。

自主防災組織育成に必要な「教育技法」の講義では、自主防災組織育成時はもちろん職場での部下の指導や今後の人生においても大変有益であるという意見が多く、また、「自主防災組織育成の実際」の講義では、自主防災組織の育成や指導方法が具体的に示され、地域住民と行政の思いのずれ、そしてどのようにすれば双方の思い

が一つになった防災への取組が図れるかというヒントも熱心に解説され、今後の組織運営や教育訓練に参考になったという意見が多くありました。

また、課題研究では、一般行政職員と消防職員とのバランスを考慮した班編制を行い、班ごとに学生が日頃抱えている問題点の中から研究課題を決定し、その解決策を探るため、限られた時間の中で、積極的な討議を行いました。一般行政職員と消防職員で様々な視点から考えることができ、問題解決の端緒が得られ有意義なものとなり、班の親睦にも繋がりました。

研修を終えた学生からは、「消防職員と行政職員との交流を深めることで情報交換ができ今後につなげていきたい。」「他都道府県、他市長村の抱える問題点を共有し、様々な意見を聞くことができ現場で生かせることを多く学べた。」などの感想が寄せられました。

今後は、自主防災組織を指導していく上で、消防大学校で得た知識、技術を十分に活用し、それぞれの地域で活躍されることが期待されます。



課題研究発表



図上訓練



幹部科第33期

消防大学校では、消防本部の中核を担っている消防司令の階級にある職員を中心に、「消防に関する高度な知識及び技術を総合的に修得させ、消防の上級幹部たるに相応しい人材を養成すること」を目的として、今年度も「幹部科」を4期（第33期～第36期）行います。

幹部科第33期は、全国から集まった61名が梅雨最中の6月17日に入校し、8月1日までの46日間にわたり、実施されました。

学生は、年明けの1月から約4か月に渡り、e-ラーニングによる事前教育と、約1か月半の全寮制の集合教育を終えて、全員が無事卒業しました。

幹部科のe-ラーニング教育は、インターネットによる通信教育で、入校前の事前学習として受講が義務づけられており、30教科すべてを終了して初めて入校となります。入校後の集合教育のレベルアップと教育効果の向上に役立っています。

東日本大震災以降、全国的に防災・減災への取組が高まる中、幹部科においては最新の消防行政の動向、危機管理、部下指導などの講義のほか、大規模地震災害に対する消防組織の運営手法や緊急消防援助隊の受援・応援要領等に関する実践的な訓練を行い、上級幹部として必要な知識、能力及び技術を総合的に修得しました。

実科訓練では、実災害を想定した、現場指揮本部の最高責任者となる本部長、本部長を補佐する指揮担当及び情報担当としての活動要領を学ぶ指揮訓練、また、今年

度から実践的な火災防ぎょ活動時における安全管理能力を向上させるため、実火災対応型訓練施設を活用した訓練（ホットトレーニング）を導入するなど、熱の入った訓練を実施しました。

また、複雑多様化・大規模化する災害に的確に対応するため、消防の幹部としての災害対応能力や関係機関との連携能力を高め、高度な指揮活動が行えるよう、図上訓練や指揮シミュレーション訓練等も実施しました。

そして、組織運営及び業務遂行上の課題解決能力の向上、対話力の向上などを目的に課題研究を行いました。これは、学生自身が業務の上で身近に抱えている課題、不安に思っている問題点等について、グループごとにテーマを決め、教育カリキュラムに組まれた日課や課外の時間を活用して討議し、その成果を発表するものです。学生を11班にグループ分けし、各グループごとに取り上げたテーマについての現状分析を行い、課題等を解決してあるべき姿を導きだし、それを発表することにより、学生全員が情報を共有して今後の業務に生かせる内容となりました。

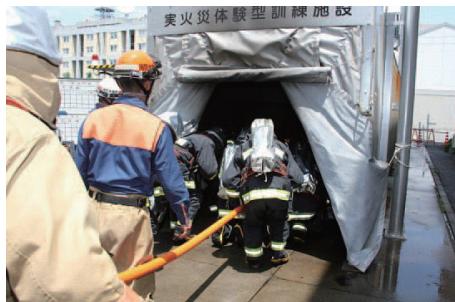
今後は、消防大学校で修得した幅広い知識・技術をいかんなく発揮し、地域の「安心と安全」のために、さらなる活躍が期待されます。

問い合わせ先

消防庁消防大学校 教務部
TEL: 0422-46-1712



指揮シミュレーション訓練



実火災体験型訓練



課題研究発表